

「四万十市で死者ゼロ」を目指し、タイムライン(案)を作成

大規模な災害に対して対応の遅れなどをなくし、防災・減災に役立てることを目的とした「渡川流域を対象としたタイムライン(案)」が、関係者の協議のもと、平成28年3月に作成されました。

今後は、「四万十市で死者ゼロ」を目指したより実践的なものとするため、内容を改善・改良するための検討を続けていきます。

台風発生	国土交通省	交通サービス	市町村	住民
台風上陸 3日前	○台風予報 ○台風に関する記者会見	体制の 早期構築	運行停止の可能性を 早めに周知	広域避難の可能性を 早めに周知
台風上陸 1日前	○連絡体制等の確認 ○協力機関の体制確認	○交通サービス 運行停止予告	○広域避難体制の 確認・周知	○防災用品の準備
災害発生 の危険性	○台風に関する記者会見 特別警報発表の可能性 ○大雨 洪水等警報 ○はん濫警報 ○はん濫危険情報	○リエソンの派遣 ○運行停止手続の 確認・公表	○広域避難勧告 指示 ○広域避難者の誘導・ 突入	○早期に 広域避難を開始
台風接近 12時間前	○大雨 暴風 高潮等 特別警報 ○はん濫危険情報	○所管施設の点検	○市町村長へ事態切迫 状況の伝達	○台風に上陸前に 避難を完了
台風上陸 0時間前	○はん濫発生情報	○被害状況の把握 ○施設点検 ○運行見通しの 公表	○運行停止 ○施設保全 待機終了	○早期復旧・再開が可能 となるように運行停止

タイムラインのイメージ

タイムラインとは

災害が発生することを前提として、関係者が事前にとるべき行動を「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して時系列で整理した**災害対応のスケジュール表**です。

ポイント① 多様な主体で考える

検討会参加メンバー

学識者	高知大学総合研究センター 四万十市 高知県幡多土木事務所 幡多中央消防組合消防本部 中村警察署 気象庁高知地方気象台 国土交通省中村河川国道事務所
行政機関	四万十市消防団 四国電力 NTT 西日本 土佐くろしお鉄道 高知西南交通 介護老人保健施設いろは館
民間事業者等	

ポイント② 実際に使って改良する

中筋川で戦後第2位の水位を記録した平成28年9月の台風16号に際しては、各関係者がタイムライン(案)に基づいて行動しました。その中で出てきた問題点や課題は今後の改良に役立ちます。



H28.9.20 四万十市有岡での水防活動

知っ得!! 川の最新情報 想定最大規模降雨における浸水想定区域図等を公表しました!

- 近年、1時間に50mmを超える短時間の強雨や総雨量が数百mmから千mmを超えるような大雨、局地的な豪雨により、全国各地で災害が発生しています。そこで、平成27年に「水防法」の一部が改正され、想定最大規模(注)の降雨を対象とした浸水想定区域の指定などが義務づけられました。
- 中村河川国道事務所では四万十川、後川、中筋川の浸水想定区域図などを作成し、平成28年5月30日に公表しました。この図面は関係市町村の洪水ハザードマップの改定などに役立てられます。
- 浸水想定区域図などは中村河川国道事務所のホームページに掲載されています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/ema-sinsui.html>

(注) 現状の科学的な知見や研究成果を踏まえ、これまでの気象観測結果等を用いて、現時点で想定しうる最大規模の雨のこと。

公表した図面	浸水想定区域及び水深を示した図面 浸水継続時間を示した図面 家屋倒壊等氾濫想定区域を示した図面
--------	---

四万十川ニュースレター vol.5

四万十川に関する様々な情報をお伝えします

くらしと風景をまもる

初崎堤防事業 いよいよ工事が始まります!

四万十川河口の四万十市初崎地区には堤防がなく、洪水や高潮による浸水被害を受けてきました。また、南海トラフ巨大地震発生時に想定される津波によって、浸水被害が発生するおそれがあります。そこで、国土交通省中村河川国道事務所では堤防整備を計画し、平成29年度からはいよいよ堤防工事を始めます。



期待される効果

くらしをまもる

堤防が完成すれば、戦後最大(昭和38年)規模の洪水や、施設画上的津波による浸水から地域が守られます。



堤防完成イメージ



3Dプリンターで作った堤防模型です。

堤防工事の特徴

風景をまもる

工事区間には、巨大なタブノキの古木を含む河岸林があります。残せる木はそのまま残し、堤防が築かれる場所にある移植可能な木はいったん別の場所に移して、工事後に堤防周辺に戻します。

地区のシンボル
タブノキの巨木を
保存!



クローズアップ!!



渡川水系河川整備計画とは

渡川水系河川整備基本方針(平成21年2月9日策定)に基づき、四万十川、後川、中筋川の総合的な管理ができるよう河川整備の目標および実施に関する事項を定めたものです。その対象期間は、概ね30年間としています。

渡川水系河川整備計画の基本理念

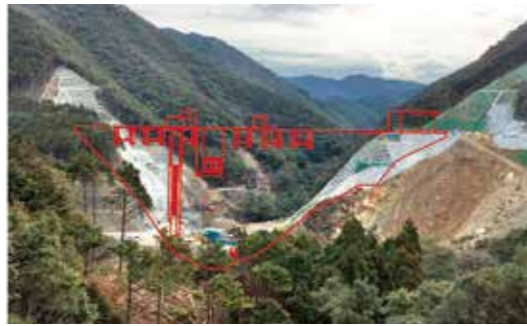
安全で安心な生活を営むことができる川づくり
恵まれた自然を育む清流としての川づくり
次世代に誇れる豊かな川づくり

編集・発行

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所 〒787-0015 四万十市右山 2033-14 TEL 0880-34-7301(代) URL http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/	国土交通省 四国地方整備局 中筋川総合開発工事事務所 〒788-0783 宿毛市平田町戸内 1692-1 TEL 0880-66-0142 URL http://www.skr.mlit.go.jp/nakasuji/	高知県 土木部河川課 〒780-8570 高知市丸ノ内 1-2-20 TEL 088-823-9838 URL http://www.pref.kochi.lg.jp/
---	--	--

① 横瀬川ダム工事が進んでいます

中筋川総合開発工事事務所では、大雨による洪水被害の軽減などを目的として、中筋川の支川の横瀬川でダムの建設工事を行っています。現在は、ダム本体ができる場所の山を削る工事を実施しています。また、ダムが完成し水が貯まるとこれまでの道路が水没するため、新しい道路を造っています(付替道路工事)。



現在の工事状況

ダムができるまで

- 道路を付け替える(H14~実施中)
- 川の流れを切り替える(H28.2月)
- ↓
- 山を削る(H28.4月~H29.4月)
- ↓
- ダム本体を造る(H29.5月~H31.2月)
- ↓
- 水をためてみる(H31.3月~H32.3月)

② 四万十川の汽水域の浅場を再生しています

四万十川自然再生事業(魚のゆりかごづくり)

四万十川河口の海水と川の水が混じり合う汽水域の浅場には、スジアオノリや、アユやアカメをはじめとする多くの魚の赤ちゃんのすみかとなるコアマモ(高知県の準絶滅危惧種)が生育していますが、近年、この浅場が失われつつあります。このため、中村河川国道事務所では、スジアオノリやコアマモの生育に適した浅場を再生し、四万十川の汽水域がかつて有していた環境となるような取り組みを進めています。

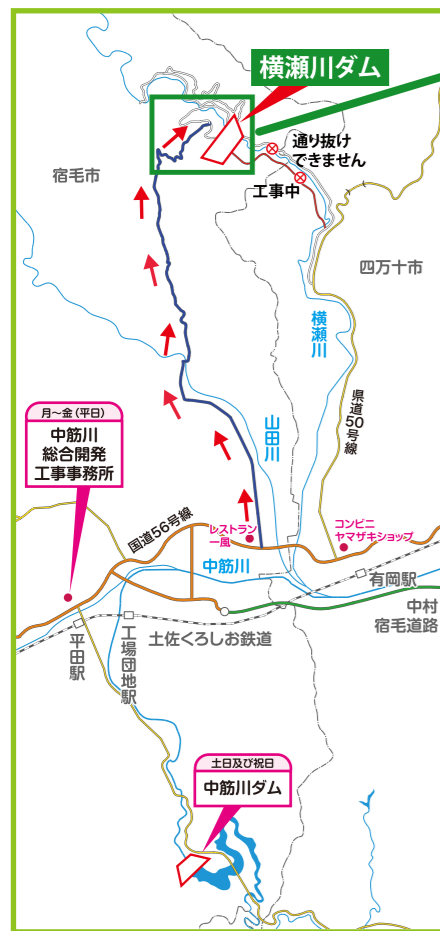


コアマモ場(四万十川大島)で育つアカメの子ども



四万十の冬の風物詩 スジアオノリ干し

Focus! 見学所に行って注目!



- 見学所では、ダムの特徴などを説明したパネルを展示しているほか、工事現場を一望できます(工事を行っていない土曜、日曜、祝日は原則閉所)。
- ダム見学で事業説明を希望される団体は、1週間前までに電話等にてご相談下さい(土・日・祝を除く)。

お問い合わせ 中筋川総合開発工事事務所
TEL 0880-66-0142
FAX 0880-66-1435
E-MAIL skr-nakasa60@mlit.go.jp

- 工事現場を見学して頂いた方には、工事期間限定のダムカードをプレゼント!
- 希望される方は、お手持ちのカメラ付き携帯電話やデジタルカメラなどで、工事現場を背景に写真を撮影のうえ、配布場所までご持参下さい。



自撮りして持ってきてね!

曜日	配布時間	配布箇所
月~金(平日)	9:00 ~	中筋川総合開発工事事務所 総務課(1F)
土日及び祝日	17:00	中筋川ダム管理庁舎(1F玄関インターホン)

県道50号からはアクセスできません。見学所までは、赤い矢印のルートをご利用ください。

Focus! ホームページで注目!

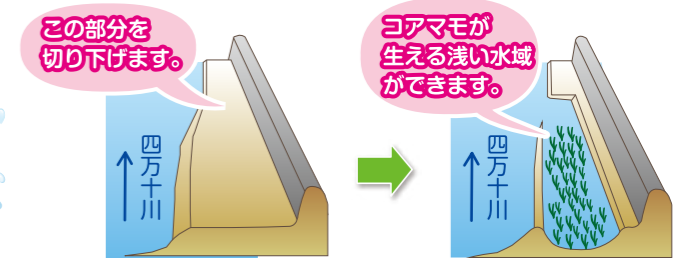
- 中筋川総合開発工事事務所のホームページ内の特設ページで、工事の進み具合を公開しています。ぜひご覧ください!

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakasugi/kouji/index.html>



Focus! コアマモ場の再生に注目!

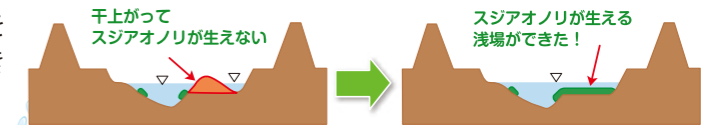
- 四万十川の高水敷の一部を切り下げて、コアマモが生育できる流れの緩やかな浅場を再生します。



平成28-29年に、実崎箇所に浅場を整備! 多くの生き物が利用してくれるようになれば、ほかの場所での整備も計画していきます。

Focus! スジアオノリ場の再生に注目!

- 砂州や中州の高くなりすぎている部分を切り下げて、スジアオノリが生育ができる浅場を再生しています。



川底一面に生えたスジアオノリ(干潮時)